

CASBEE-広島 2014年版			■使用評価マニュアル：CASBEE-広島 2014年版					
三菱重工株式会社 (仮称)広島地区新事務所棟建設工事			■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)					
			欄に数値またはコメントを記入					
スコアシート 実施設計段階								
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
			評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質							2.9	
Q1 室内環境				0.40	-	-	3.2	
1 音環境			3.5	0.15	-	-	3.5	
1.1 騒音		室内騒音レベル目標値45dB以下	4.0	0.40	-	-		
1.2 遮音			3.4	0.40	-	-		
1		開口部遮音性能	5.0	0.60	3.0	-		
2		界壁遮音性能	1.0	0.40	3.0	-		
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	3.0	-		
4		界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音			3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境			3.0	0.35	-	-	3.0	
2.1 室温制御			3.0	0.50	-	-		
1			室温	3.0	0.38	3.0		-
2			外皮性能	3.0	0.25	3.0		-
3			ゾーン別制御性	3.0	0.38	-		-
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				2.7	0.25	-		-
3.1 昼光利用			1.8	0.30	-	-		
1			昼光率	1.0	0.60	3.0		-
2			方位別開口	-	-	3.0		-
3			昼光利用設備	3.0	0.40	3.0		-
3.2 グレア対策			3.0	0.30	-	-		
1			昼光制御	3.0	1.00	3.0		-
3.3 照度			照度分布を作成し、必要照度に見合った照明器具台数を選定してい	4.0	0.15	3.0		-
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境			3.7	0.25	-	-	3.7	
4.1 発生源対策			4.0	0.50	-	-		
1			化学汚染物質	4.0	1.00	3.0		-
2			アスベスト対策	-	-	-		-
4.2 換気			3.0	0.30	-	-		
1			換気量	3.0	0.33	3.0		-
2			自然換気性能	3.0	0.33	3.0		-
3			取り入れ外気への配慮	3.0	0.33	3.0		-
4.3 運用管理			4.0	0.20	-	-		
1		CO ₂ の監視	3.0	0.50	-	-		
2		喫煙の制御	5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.2	
1 機能性			3.4	0.40	-	-	3.4	
1.1 機能性・使いやすさ		有線、無線で3系統の通信設備を設置している。	2.6	0.40	-	-		
1			広さ・収納性	3.0	0.33	3.0		-
2			高度情報通信設備対応	4.0	0.33	3.0		-
3		バリアフリー計画	1.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性		各フロアに休憩スペースを設け、積極的なアメニティの創出を図ってBIMによる内装計画、確認を随時行っている。	4.0	0.30	-	-		
1			広さ感・景観	3.0	0.33	3.0		-
2			リフレッシュスペース	5.0	0.33	-		-
3		内装計画	4.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理			4.0	0.30	-	-		
1		維持管理に配慮した設計	4.0	0.50	-	-		
2		維持管理用機能の確保	4.0	0.50	-	-		
3		衛生管理業務	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			2.6	0.30	-	-	2.6	
2.1 耐震・免震			2.2	0.50	-	-		
1			耐震性	2.0	0.80	-		-
2			免震・制振性能	3.0	0.20	-		-
2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.30	-	-		
1		躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-	-		
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.20	-	-		
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.10	-	-		
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10	-	-		
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	4.0	0.20	-	-		
6		主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-		

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	電源の二重化を計画している。	3.0	0.20				
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20				
	3	電気設備		3.0	0.20				
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20				
	5	通信・情報設備		3.0	0.20				
					4.0	0.20			
3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-	3.6	
3.1 空間のゆとり			4m以上を確保している フレキシビリティのある整形で広がりのある平面計画	5.0	0.30	-	-		
	1	階高のゆとり		5.0	0.60	3.0	-		
	2	空間の形状・自由さ		5.0	0.40	3.0	-		
				3.0	0.30	3.0	-		
				3.0	0.40	-	-		
				3.0	0.20	-	-		
				3.0	0.20	-	-		
				3.0	0.10	-	-		
				3.0	0.10	-	-		
				3.0	0.20	-	-		
				3.0	0.20	-	-		
				3.0	0.20	-	-		
				3.0	0.20	-	-		
				3.0	0.20	-	-		
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-		2.4
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0	
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1	
1 建物外皮の熱負荷抑制			LowE複層ガラスと、断熱パネルの採用	4.2	0.20	-	-	4.2	
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -	5.0	0.50	-	-	5.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)			高効率型機器の採用	5.0	1.00	-	-		
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-		
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-	2.5	
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-		
4.1	モニタリング	3.0		0.50	-	-			
4.2	運用管理体制	2.0		0.50	-	-			
集合住宅の評価		-		-	-	-			
4.1	モニタリング	3.0		-	-	-			
4.2	運用管理体制	3.0		-	-	-			
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-		2.7
1 水資源保護					3.4	0.20	-		-
1.1 節水			節水型衛生器具を採用している。	4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-			
2 非再生性資源の使用量削減				2.5	0.60	-	-	2.5	
2.1 材料使用量の削減			構造躯体の基準強度を満たした材料選定	3.0	0.11	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.22	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.22	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.22	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.6	0.20	-	-	2.6	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			適材適所の材料選定	4.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				2.0	0.70	-	-		
1	消火剤		-	-	-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50	-	-			
3	冷媒		3.0	0.50	-	-			
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0	
1 地球温暖化への配慮			高効率型機器の採用	4.2	0.33	-	-	4.2	
2 地域環境への配慮				1.9	0.33	-	-	1.9	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				1.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.6	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減			-	-	-	-		
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.33	-	-			
3	交通負荷抑制	適切な駐車、駐輪スペースの確保	4.0	0.33	-	-			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-			
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-		
1	騒音	3.0		0.33	-	-			
2	振動	3.0		0.33	-	-			
3	悪臭	3.0		0.33	-	-			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-		
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-		
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-		